

KUMABI 2019/2020

芸大美大・美術系学校受験予備校

クマビ



詳しくはHPへ

TEL.048-578-8177

FAX.048-525-6043

熊谷美術研究所
〒360-0013 埼玉県熊谷市中西2丁目7番31号

KUMABI・2019/2020

芸大美大・美術系学校受験予備校

クマビ

油絵科 / デザイン科 / 工芸科 / 日本画科 /
基礎科 / 芸大美大学科 / 土日科

入学案内



熊谷美術研究所



美術の世界によろこそ！ クマビは美術を志す皆さんを歓迎します。

クマビについて

美術予備校熊谷美術研究所=クマビは埼玉県熊谷駅北口徒歩15分にある芸大美大受験の美術予備校です。ここでは美術全般に通じる色と形の感覚のトレーニングとしてデッサンとデザインと絵画を指導しています。クマビの対象は芸大美大を受験する人。大学受験をする人を主にしながらも、桑沢デザイン研究所を受験する人や美術系高校を受験する人の対策にも力を入れています。又、受験に限らず美術系の学校に行かずにプロを目指す人や美術系の学校に通っている人。美術系の学校を卒業した人も対象にしています。デッサンとデザインと絵画の腕を磨きたい人なら誰でも学べるのがクマビの特徴です。

クマビのコンセプト

熊谷美術研究所クマビは美術予備校の先生が作った美術予備校です。クマビは、先生が作った予備校だからこそ持てる視点を指導面や経営面に幅広く生かしています。クマビを作った先生は経営者でありながらも先生です。そのため美術とは関係のない美術以外の世界の経営者の方よりも的確に費用対効果を判断することができるため、少子化の影響の下で、予備校のマネジメントが容易ではない今の時代にあっても、十分に収益が上がるビジネスモデルを作り、斜陽にある美術予備校の業界にありながらも開校から現在まで右肩上がりの成長を遂げています。経営者が先生であることは収益性を高める利点ばかりではありません。収益以上に芸大美大受験産業の教育の質に対する強い懸念あり、収益にのみとらわれてしまうのではなく、絶えず教育の本質を問い続ける姿勢につながっています。美術予備校にありがちな収益にとらわれて教育の本質を見失ってしまうことのないようにクマビは教育に携われることに誇りを持ち、本質を見失わないことを常に頭においています。

受験対策では学校や講師の教え方や予算をさいた教材にこだわるのではなく、受験生の合格の可能性を最大限に高めることにこだわり、変化し続ける入試の動向を注視し続け、指導方法を絶えず検証 / 更新し、受験生にその年の入試に合った最適な考え方や技術を導入。時代にあった精神や感性を育てる指導をおこなうよう心掛けています。

クマビの天才育成計画

熊谷美術研究所は「天才を育てる」という論点から発想して美術予備校としての在り方を模索しています。



天才育成計画



クマビのHPにて紹介しています

2019年合格実績

合格者総数 33名 ※一般方式 / センター方式 / 補欠含む
2019年3月13日現在

武蔵野美術大学 14名
多摩美術大学 9名
その他美術系大学 10名
油絵科 ムサ多摩 **現役全員合格**
油絵科 武蔵野美術大学 **現役全員合格 合格率全国一位**
油絵科 多摩美術大学 **合格率 83%**

★武蔵野美術大学
油絵+版画学科 8名 (現役8名)
デザイン情報学科 4名 (現役2名)
空間デザイン学科 2名 (現役2名)

★多摩美術大学
油画 9名 (現役7名)

★東京造形大学
デザイン 2名
ビジュアルデザイン 2名

★女子美術大学
日本画 2名

★東北芸術工科大学
日本画 2名 (現役1名)

★日本大学芸術学部
デザイン 1名 (現役)

★名古屋芸術大学
日本画 1名



目次

クマビについて	1
2019合格実績	
美術/デザインに興味がある	3
進路相談	
体験授業	
年間スケジュール	
■ 油絵科	5
■ デザイン科	21
■ 工芸科	27
■ 芸大美大学科	28
■ 日本画科	29
■ 基礎科	35
■ 土日科	38
コラム 美術の世界に入る皆さんへ	38



美術 / デザインに興味がある方への進路相談

進路相談

美術予備校クマビの進路相談

クマビでは進路相談を随時行っています。
美術に興味がある人で相談を受けたい人は遠慮なく進路相談の申込を行って下さい。
進路相談の申込はクマビHPの進路相談送信のページで必要事項に記入して送信して頂くか
クマビお電話 048-578-8177 までご連絡ください。

「最初から進路相談を受けるのは抵抗があるけれどある程度を知りたい」という方や「今すぐ情報が欲しい」という方はHPの項目で気になるものをクリックしてページの内容を読んでみてください。



匿名でもOKのHP進路相談

クマビ生ではない人でも誰でも無料で相談を受け付けています。匿名でもOKなのでクマビに営業される心配はありません。美術の道に進む際のわからないことや悩みなどは美術予備校クマビHPの進路相談のページを読んでください！このページでは進路を検討する際の気になる疑問、悩みなどの検討事項ごとにアドバイスを掲載しています。各項目のページを読めばこれまでわからなかったことがある程度わかると思います。
一通り読めば進路が見えてくる！
まずは、美術の気になるジャンルからジャンルごとの専攻(仕事)。その仕事を目指すための志望校をアドバイスしている「専攻について」をご覧ください。

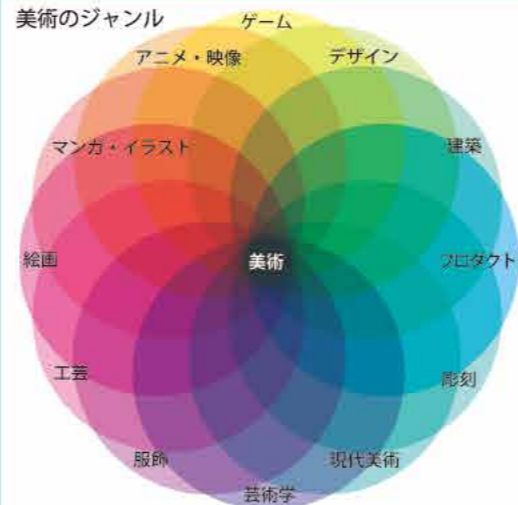


芸大美大の専攻について

美術の世界は様々な仕事に分かれています。専攻(ジャンル)は仕事の分かれ方に合わせて分かれています。
美術の学校の中にある専攻には様々なジャンルがあります。

美術に興味のある人なら

図の中で自分の興味のあるジャンル(専攻)を見つけることができます。ひとつに絞られている人、複数ある人もいます。志望校を決める前の人は今の時点ではひとつに絞る必要はありません。クマビに相談してから落ち着いて絞って下さい。



美術の世界はそれぞれが無関係ではなく全てが時代の流れに沿って共鳴し関係し合っています

クマビの設置科

クマビには各専攻にあわせて7つの科があります。

- 油絵科 油絵を専攻する人。
- デザイン科 デザインを専攻する人。
- 工芸科 新設しました。
- 日本画科 日本画を専攻する人。
- 芸大美大 学科も重視。
- 基礎科 中学生から高校2年生対応。
- 土日科 平日に受講できない人対応。

詳しくはHPをご覧ください。

芸大美大の専攻=ジャンルについて

芸大美大や専門学校の専攻を考えるために学校の専攻について少し説明します。学校の専攻は元々は大きな区別しかありませんでした。時代と共にそれが枝分かれして細分化しています。

細分化の流れ

元々は！デザイン 絵画 彫刻 建築 芸術学 服飾 程度だったのが、

私立の大学ではデザイン科が文字やポスターなどの印刷物、車・家電やペットボトルなどの製品、室内の照明や壁紙などのインテリア、WEBなどの情報系に分かれました。なのでデザインの中にはさらに細かな専攻があると考えて下さい。

私立国公立の大学ともにマンガ アニメ 現代美術の専攻が加わりました。後から加わった、現代美術は元々はデザインや絵画の中で学んでいましたし、今でも学ぶことができます。

専門学校ではマンガ アニメ ゲーム カーデザインの専門学校が加わりました。

専攻を決めたら志望校を考えよう。

専攻を決めたら志望校を考えてみてください。専攻ごとに職業があります。専攻と職業ごとに志望校があります。専攻と職業と志望校をHPで表にしていますので見てみてください。

職業と志望校の表

このページに記載されている内容に関する疑問、質問をお受けします。さらに詳しい話が聞きたい人はクマビで進路相談を受けることができます。



入学を決める前の方

美術系の進学が気になっていたり、美術予備校のことが気になり始めていたり、熊谷美術研究所=クマビへの入学を少し考え始めている方には見学と進路相談の面接をおすすめします。見学と面接の受け付けは随時行っていますのでご遠慮なくお申し出ください。

クマビへの入学を検討している方には体験授業の受講をおすすめします。



入学手続きの仕方

入学が決まったら入学手続きを行ってください。

1. 受講の仕方を相談して料金をお見積り致します。
2. これから必要になる画材の説明をして、クマビで画材を購入される場合はお見積り致します。
3. 申し込み手続きに必要な書類(入学申込書兼調査書と受講生カルテ)をお渡し致します。

入学手続きは

- ①お支払い
 - ②入学申込書兼調査書の提出(3x4の顔写真1枚貼付)
 - ③受講生カルテの提出(3x4の顔写真1枚貼付)
- の3つで完了です。

年間スケジュール

1学期 4月10日~7月20日

2学期 9月2日~12月13日

3学期 1月10日~3月18日

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

3月26日~4月5日
春期講習会



7月23日~8月25日
夏期講習会



12月14日~1月9日
冬期講習会

試験期間

3月28日~4月5日
春期講習会



既成概念にとらわれず自由な発想と手法で 自分の進むべき道を決める。

油絵科について

油絵科の特徴の1つは大学に入ってから選択肢が多い所です。たくさんある選択から自分の一番気に入ったものを選ぶ。そういった選択の自由が特徴です。他科では古典的な技法の習得が必須という所が多いです。でも油絵科では古典的な技法などどこ吹く風〜という人も少なくありません。逆に油絵科でも古典的な技法にどっぷりはまる人もいて好き好きです。そのような油絵科のためしっかりとルールを敷いてもらわなければ困るという人は困惑してしまう場合があります。但し、そういった人がいた場合にはしっかりと手を差し伸べてくれる先生が多いのも油絵科の特徴とも言えます。自分の力で考えて進むべき道を選びたい人には向いているのでガンガン突き進んで欲しい科です。

油絵の世界は古い感覚や考え方にとらわれないよう、時代の流れに柔軟に対応するように心がけています。そのため、今の若者の感覚にも対応しようとする面を持っているといいと思います。今よりも深く、広く、新しさを目指して各々が見つけている見方が新しい作品を生み、学生の選択肢を増やし、柔軟な姿勢がやがて無限の可能性を切り開いてさらに成長し続けます。そういったダイナミズムを内に秘めながらコツコツと地道に作品を作り続けたり、考え込

む様子が油絵科ではよく見られます。そういった風景の一方で選択肢の多さから何でもありの「自由」と誤解してしまう人が出てくることもしばしば。どのようなものでも必ず破ってはならないルールがあります。学生の中には誤解をしてルールを犯し、人の道のみならず芸術家としての道を外れてしまう人が稀にいます。許可なく壁に穴を開けたり…。世間では破天荒な芸術家のイメージの強い油絵科が、破天荒な人やそういった生き方に憧れる人が向いていると誤解されることが良くあるようですが、実際にはルール無用の破天荒な人は油絵科には絶対に向きません。戦後間もない昭和の時代には破天荒な巨匠もおられました…。



受講時間帯

昼間部 高卒生対象

	月	火	水	木	金	土	日
14	●	●	●	●	●	●	●
15	●	●	●	●	●	●	●
16	●	●	●	●	●	●	●
17	●	●	●	●	●	●	●
18	●	●	●	●	●	●	●
19	●	●	●	●	●	●	●
20	●	●	●	●	●	●	●

夜間部 高3生対象

	月	火	水	木	金	土	日
14	-	-	-	-	-	-	-
15	-	-	-	-	-	-	-
16	-	-	-	-	-	-	-
17	●	●	●	●	●	●	●
18	●	●	●	●	●	●	●
19	●	●	●	●	●	●	●
20	●	●	●	●	●	●	●



合格者の声

美術を大学で学びたいなら準備は早い方がいい。



武蔵野美術大学
多摩美術大学
現役合格

木越 絢那

私は1年生の夏休みから通い始めました。はじめの頃は自分より前から通っている周りの生徒達の作品を見て「こんなふうには描くなんてことは無理なのではないか」と感じたりもします。ですが、意識すべきことをきちんと意識すれば、確実に作品は良いものになっていきます。また、ひとえに絵が上手と言っても人それぞれ得意な表現、捉え方があります。得手不得手を把握することは上達するためには必要なことだと思います。

何事もそうであると思いますが、絵の上達も一朝一夕に行くことはあまりないと思います。美術を大学で学びたいと思うならば出来るだけ早くに習い始めた方が良いでしょう。より多く練習出来るというのがありますが、重ねた日々が多ければ多いほど自分の自信の支えとなってくれます。また、美大受験のためには「描く体力」が必要になってきます。3年生の長期休暇期間は1日9時間もの間絵を描きます。突然そんなにも長い時間絵を描くことはそうそう出来ません。少しずつ描き続けられる時間を増やしていくことが理想的だと思います。そうした理由から出来るだけ早めの美大受験の準備をお勧めします。

美大受験と言っても学科試験もあります。どんなに絵が上手くても学科が酷すぎると入れないこと

も有り得ます。受験間近の3年生の冬はほぼ勉強をする時間はないと思ったほうが良いです。体力的に厳しいものがあります。そうすると1,2年生の間にきちんと学んでおくことが大切です。通っている学校が入試対策の授業をしてくれているのならその授業で習ったことをしっかり復習してください。美大の学科試験、特に私立のセンター利用は国語の現代文のみ、又は好きな一教科で受けることができ、自分の得意な教科で勝負ができます。学校で習わないような教科もあるのでしっかりチェックしましょう。

美大入試は他の大学入試とは少し毛色が違って、何日も連続で試験を受ける必要があります。精神的にも疲れますので、試験期間中は好きなものを食べて早く寝ましょう。個人的にはコンビニ弁当よりもお店に行くことをお勧めします。出来たら1皿料理でなく定食のような食事を途中で取ることが好ましいです。

今クマビに通っている人は美大に受かるために練習をしていると思いますが、その中で自分は大学に行ったらどんな絵が描きたいかも考えてみて下さい。そうしていた方が大学に行きたい気持ちも高まると思います。ワクワクした気持ちで日々練習に励んで下さい。

合格者の声

高校3年の10月から始めて合格!?



多摩美術大学
現役合格

志田 明彦

僕は高校3年生の10月から熊谷美術研究所(以下クマビ)に通い始めました。鉛筆デッサンは、高3の6月から独学で本を読みながらやっていました。しかし、独学で絵を描くのは受験において限界があると思います。予備校へ通い、的確な指導を受け、周りの受験生と切磋琢磨していくのとは、上達スピードが比べものになりません。そのことにクマビに通い始めてから気が付きました。

僕は予備校へ通い始めて5ヶ月で多摩美術大学の油絵科に合格しました。クマビの指導の要領の良さのおかげだと思います。1つのデータとして対策の遅れた受験生の希望になれば幸いです。だからといって「まだ受験のこと考えなくていいやー」と侮ってはいけません。(あまり人のことは言えませんが…)上達の速さはその人の経験や知識に大きく左右されると思います。僕が受かったのは運の要素も強いと考えています。大学受験という人生の分岐点でわざわざ博打を打つ必要はありません。早い時期から受験を見据え、基礎力を養っておくべきだと思います。(昔の自分に言い聞かせたい…)

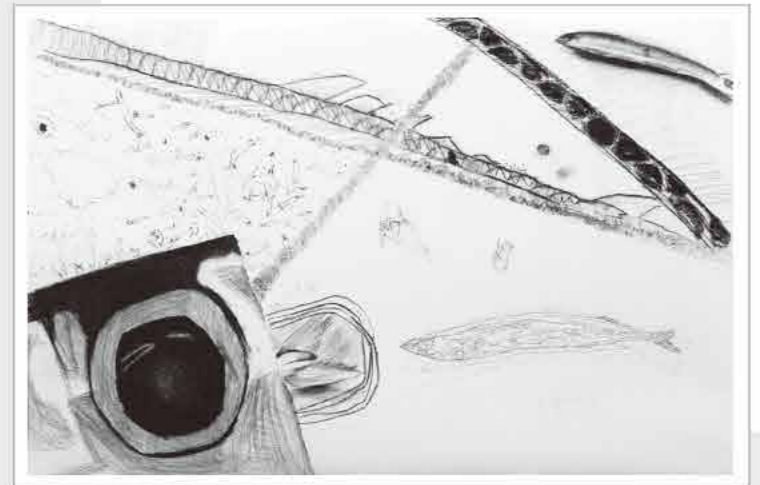
その点、クマビの指導は適していると思います。僕は、クマビの特徴として絵の本質を重視する、というのがあると感じます。つまり小手先のテクニックではなく、絵の基本である「観察する力」を徹底的に鍛えられます。もちろん、小手先のテクニックも必要だと判断されれば教えてもらえます。そして基礎というのは大抵、習得にある程度、時間を必要とします。だから、早くからクマビで指導を受ける大切さを感じるのです。

さて次は学科の勉強についての話を書きます。僕は、大して勉強が出来るわけではありません。勉強法に関しては、インターネットや本などで調べた方がいいと思います。美大受験では、勉強が軽視されがち(ひとによる)ですがやった方がいいと思います。その理由は2つあります。

1つ目は、点数が高い方が低い方より有利です。当たり前ですね。

2つ目は、勉強で学んだ知識や考え方が、絵に役立つことが少なからずあるからです。

僕は、この2つ目が重要だと感じています。これは勉強に限らず、スポーツや音楽などとも言えると思います。僕は、美大受験を決める前に、クライミングをやっていました。だ

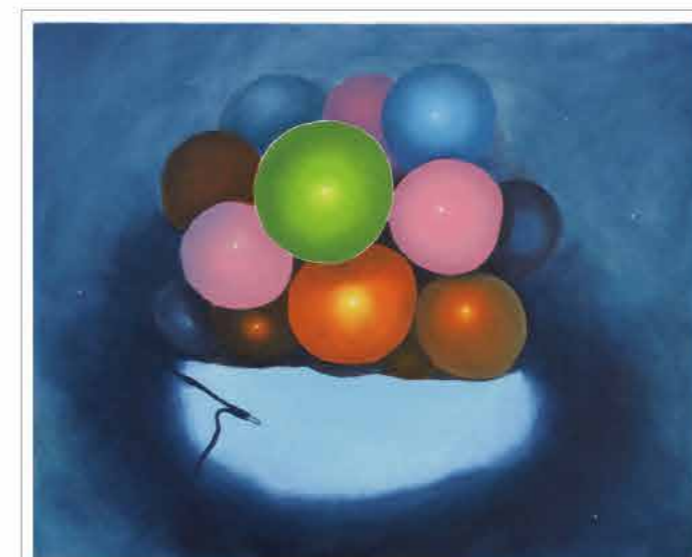


から、わりと手先が器用です。なので、筆などを思い通りに動かすことに関して、あまり苦勞をしていません。クライミングを通して身についた考え方が役に立つこともあります。あと役立つことは、石膏像を運ぶのが楽ということぐらいでしょうか。先ほど書いた、上達の速さはその人の経験や知識に大きく左右される、というのはこういう意味で言いました。みんな何かしら経験があると思います。大してなくても大丈夫です。これから学ばばいいと思います。

クマビの指導は、一から十まで全て教えてくれるわけではありません。なので自分で考える力が身につきます。クマビをうまく活用できれば、かなり力がつくと思います。



武蔵野美術大学 多摩美術大学 合格 現役



武蔵野美術大学 多摩美術大学 合格 現役



武蔵野美術大学 多摩美術大学 合格 現役



多摩美術大学 合格 現役



多摩美術大学 合格



武蔵野美術大学 多摩美術大学 合格 現役



多摩美術大学 合格 現役



武蔵野美術大学 合格 現役



多摩美術大学 合格 現役



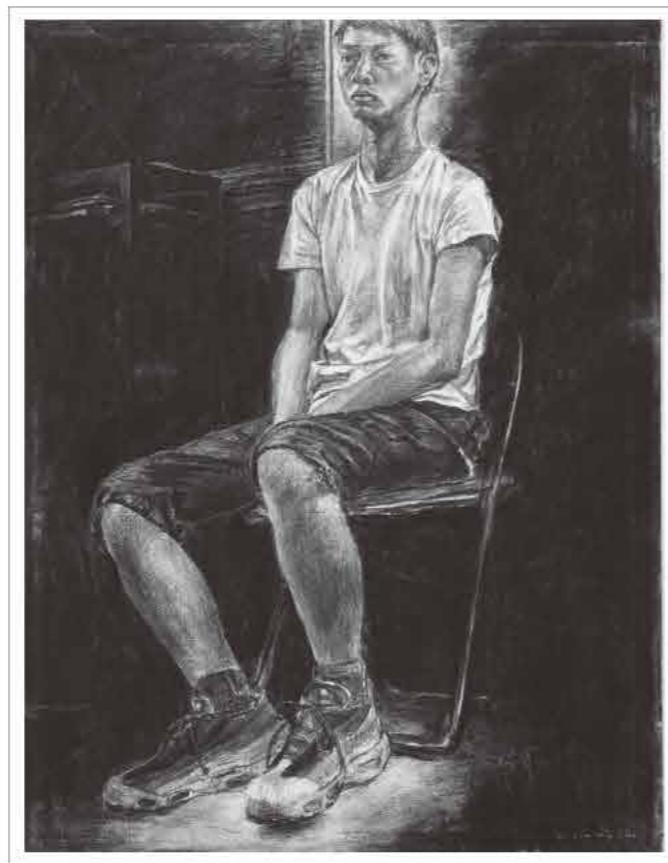
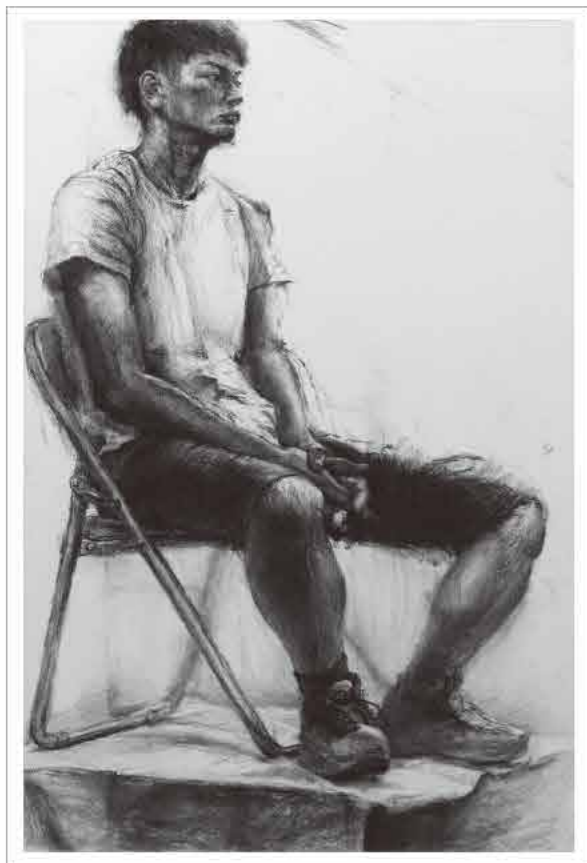
多摩美術大学 合格 現役



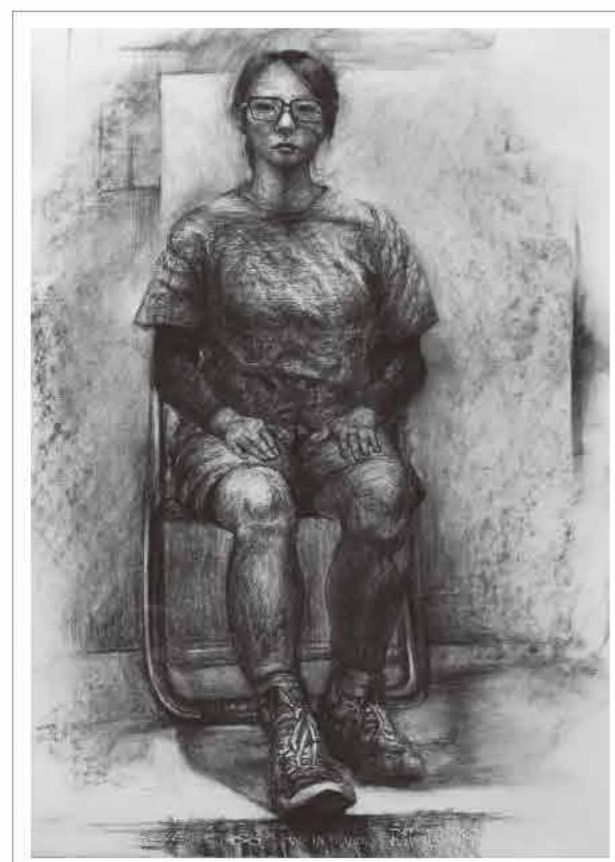
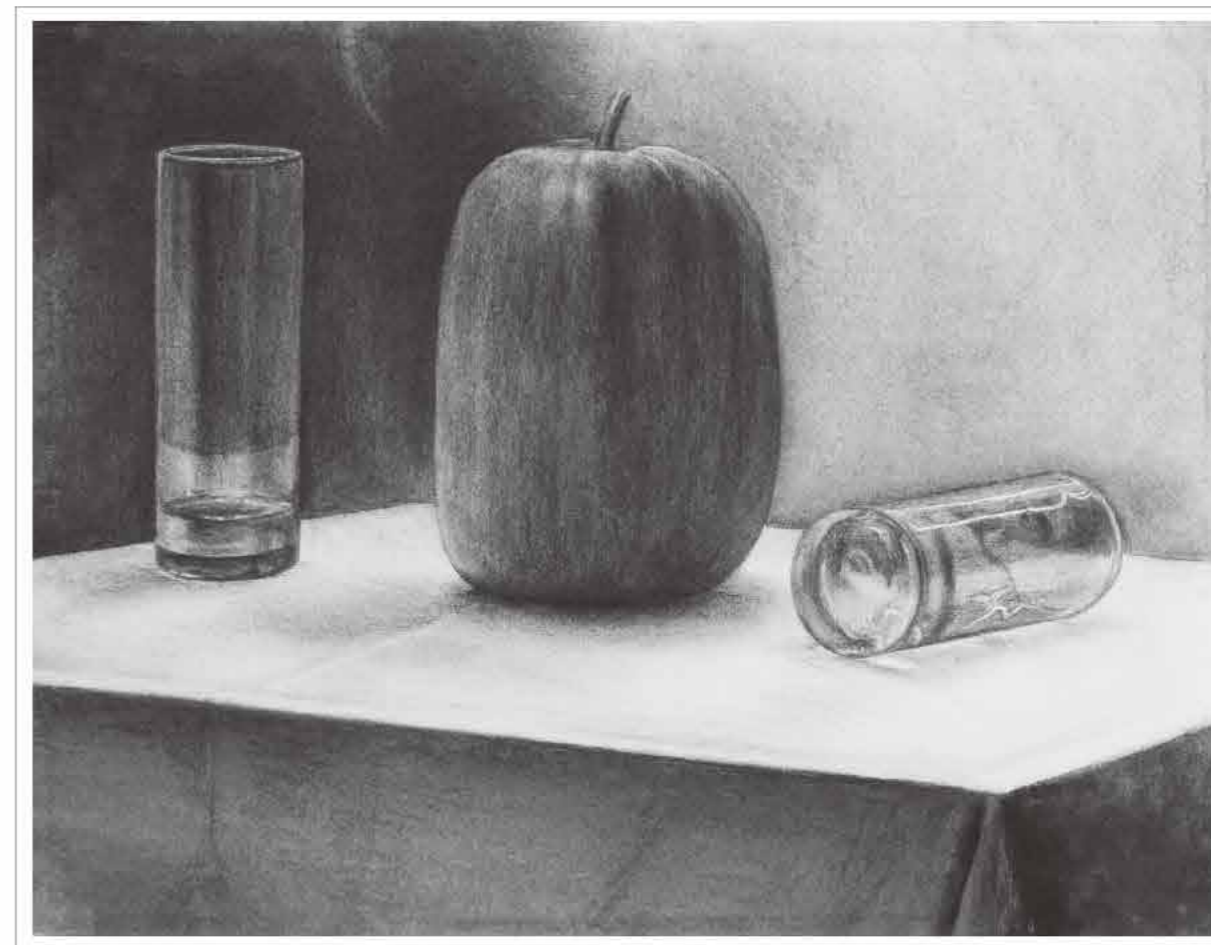
武蔵野美術大学 多摩美術大学 合格 現役



武蔵野美術大学 合格 現役



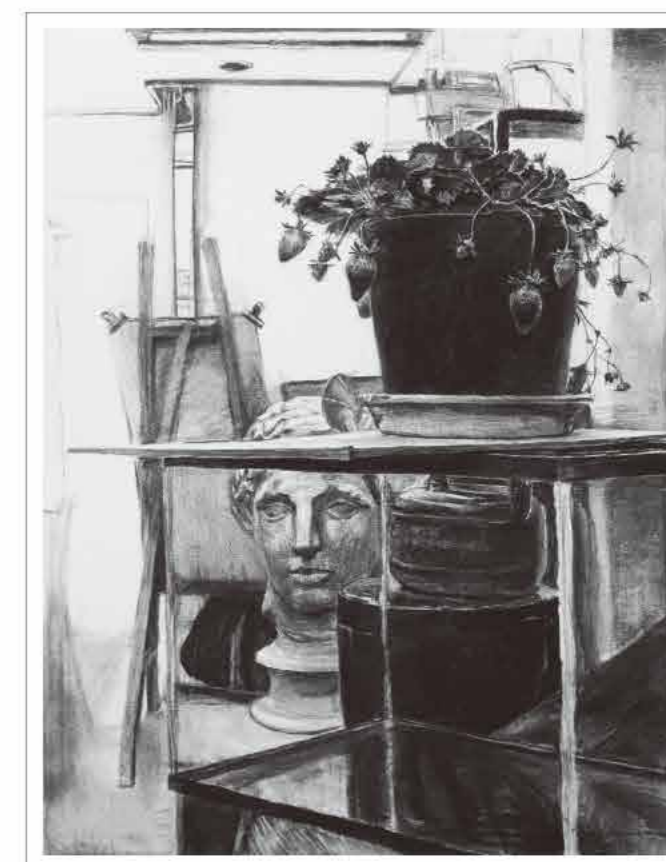
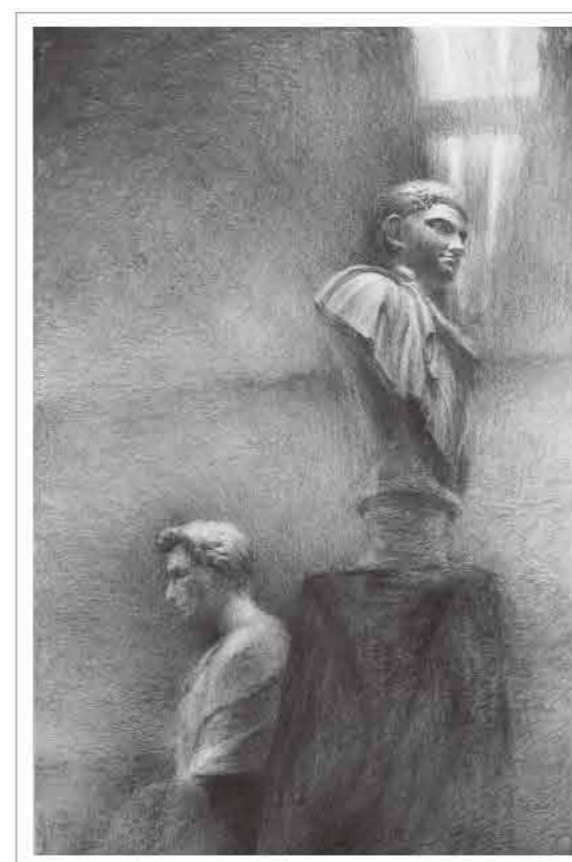
多摩美術大学 合格 現役



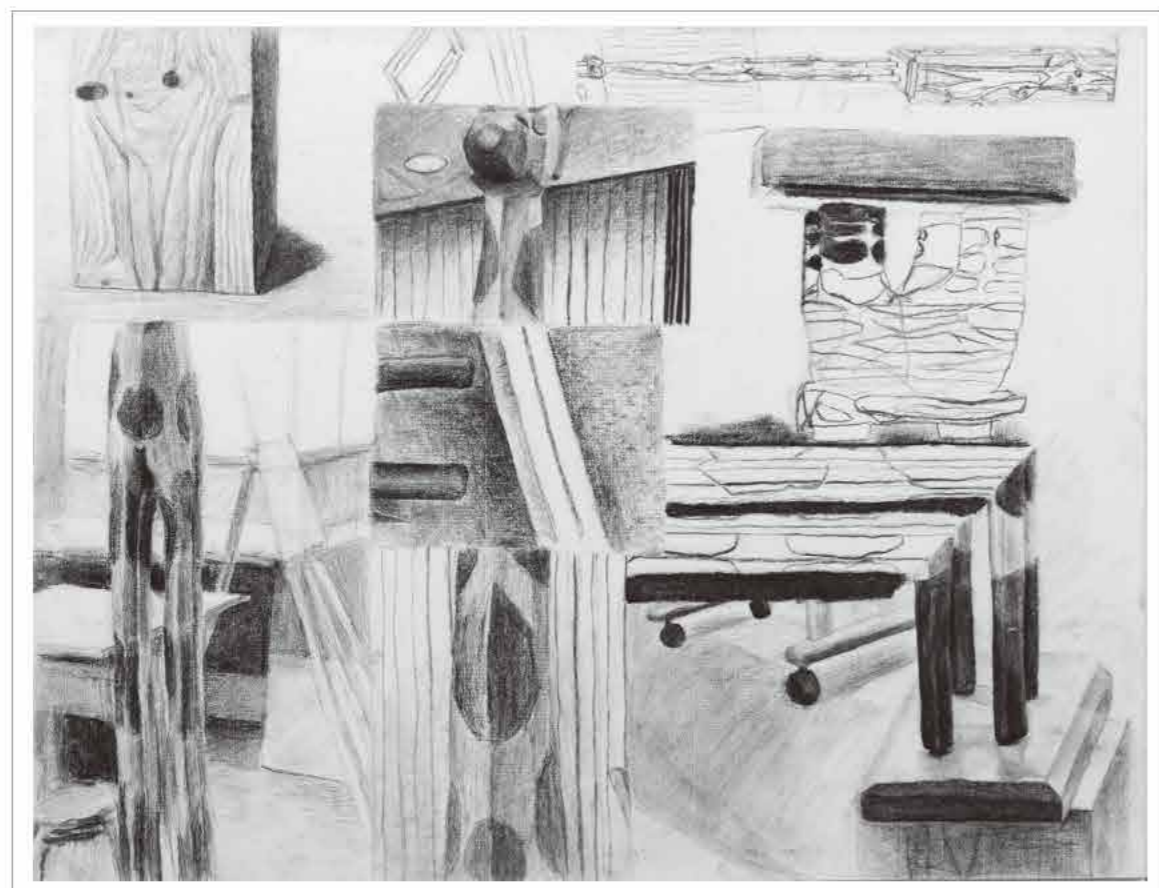
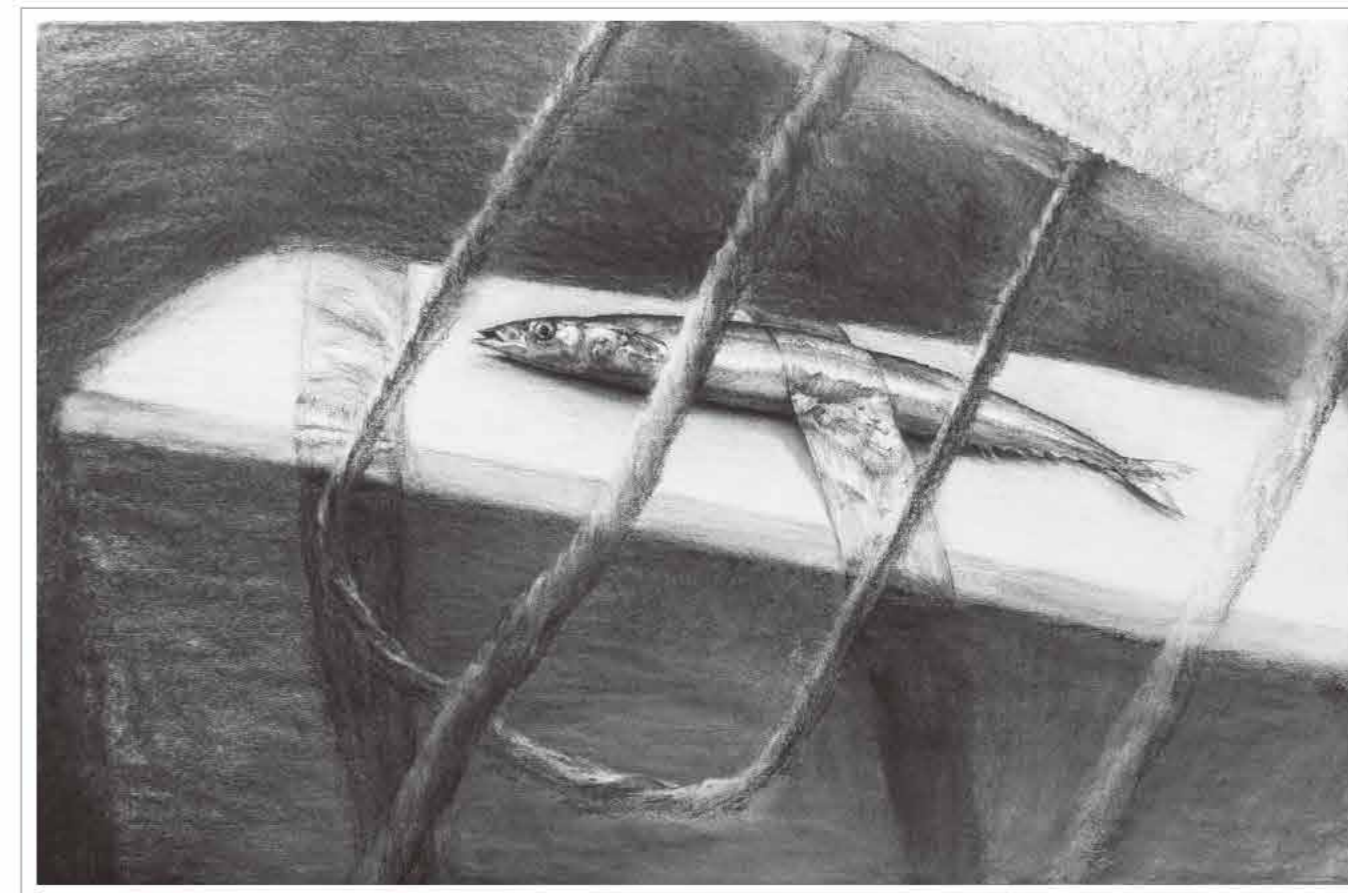
武蔵野美術大学 多摩美術大学 合格 現役



武蔵野美術大学 多摩美術大学 合格 現役



多摩美術大学 合格 現役



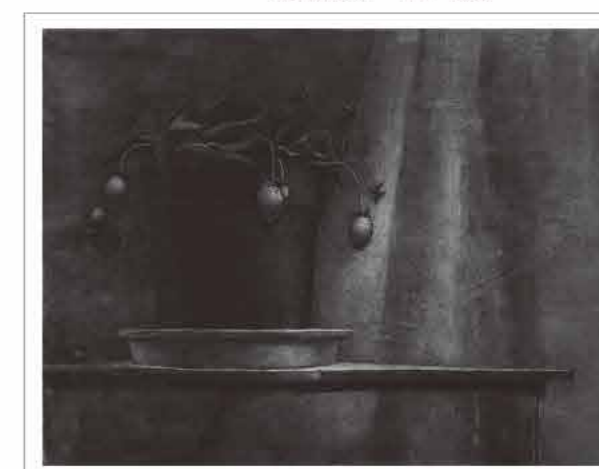
多摩美術大学 合格 現役



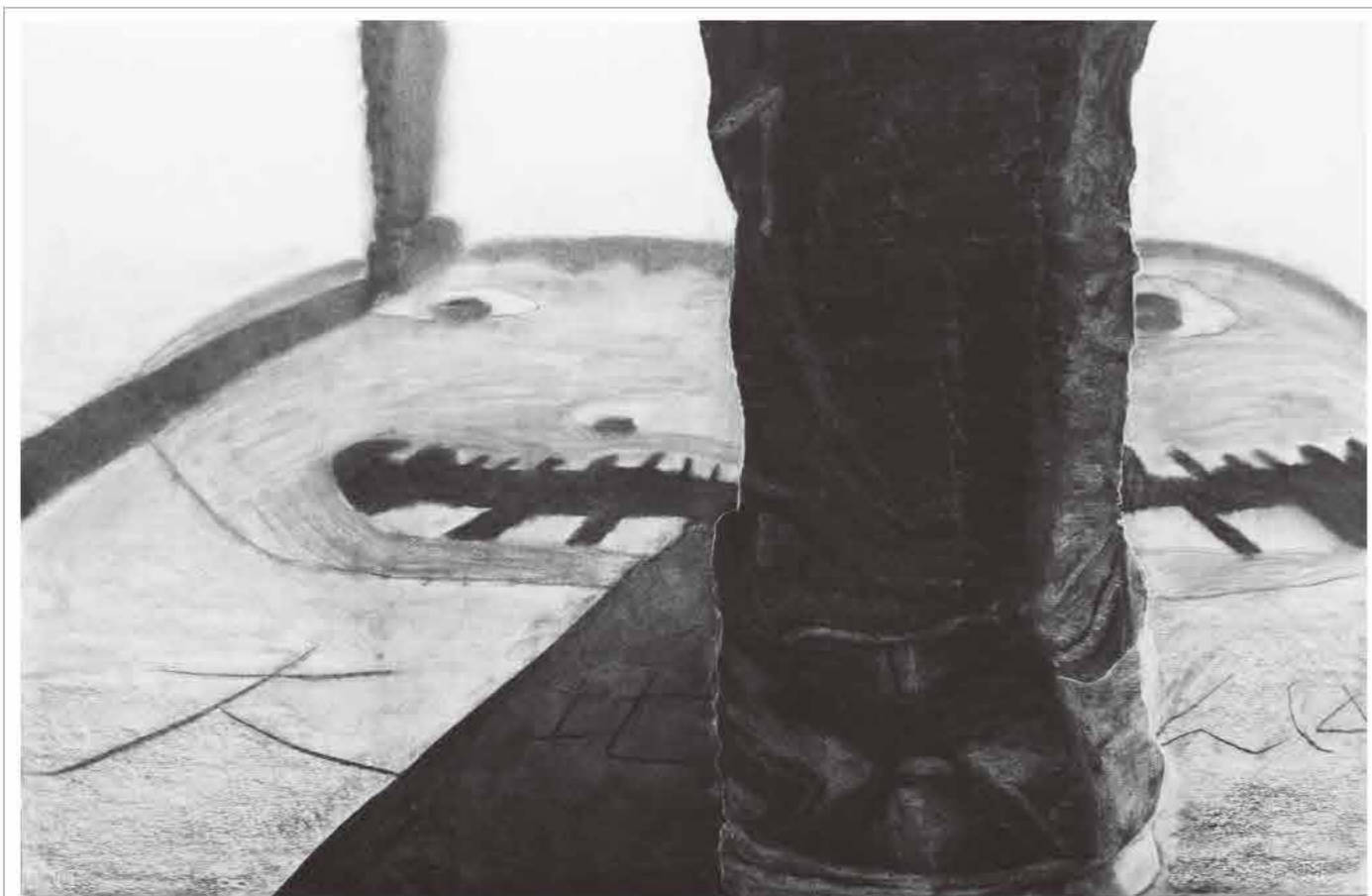
多摩美術大学 合格 現役



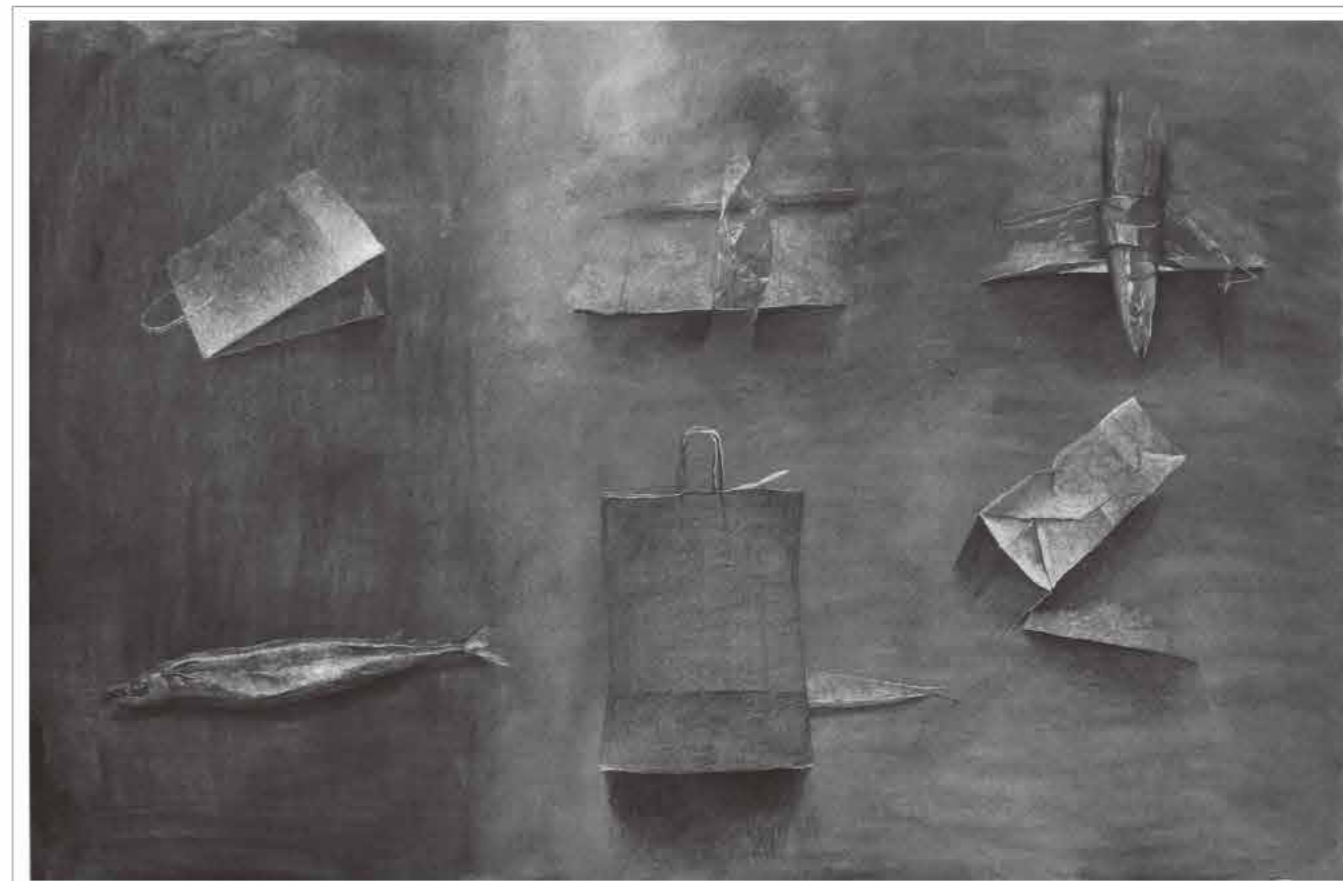
多摩美術大学 合格 現役



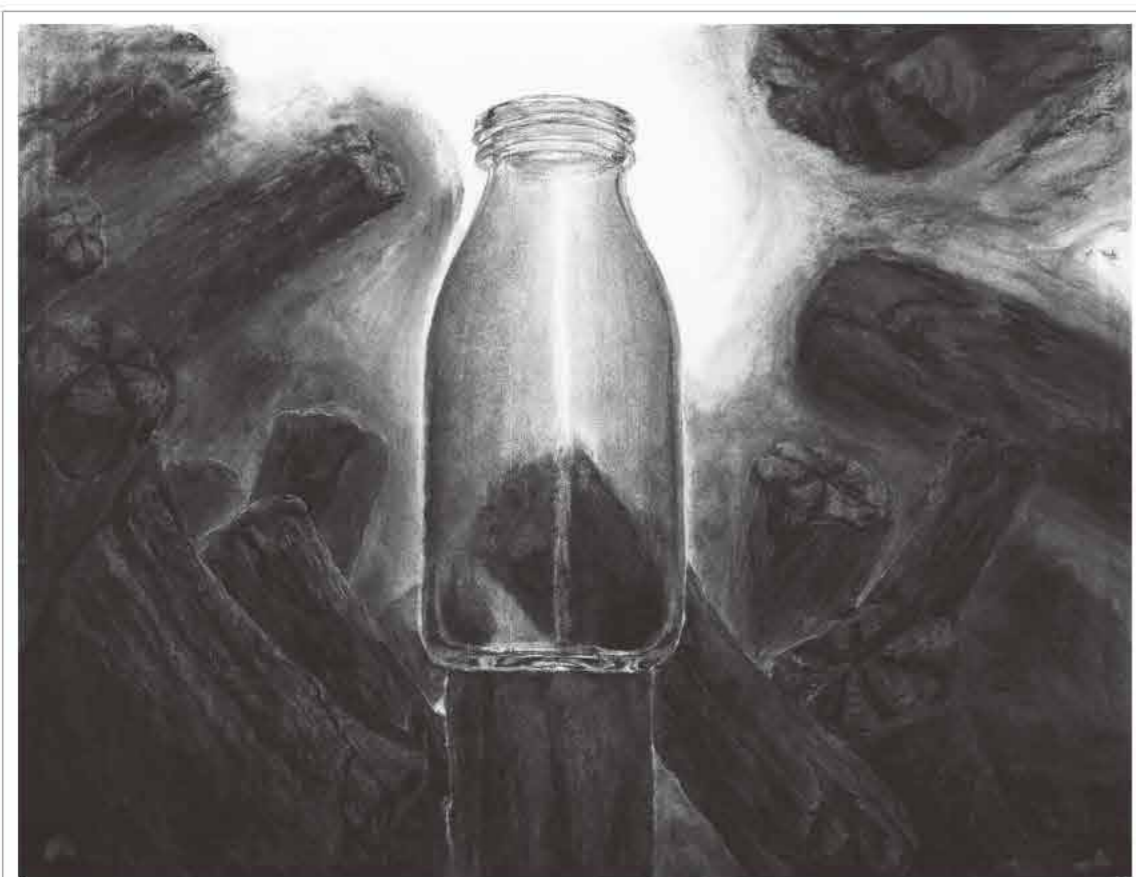
武蔵野美術大学 多摩美術大学 合格 現役



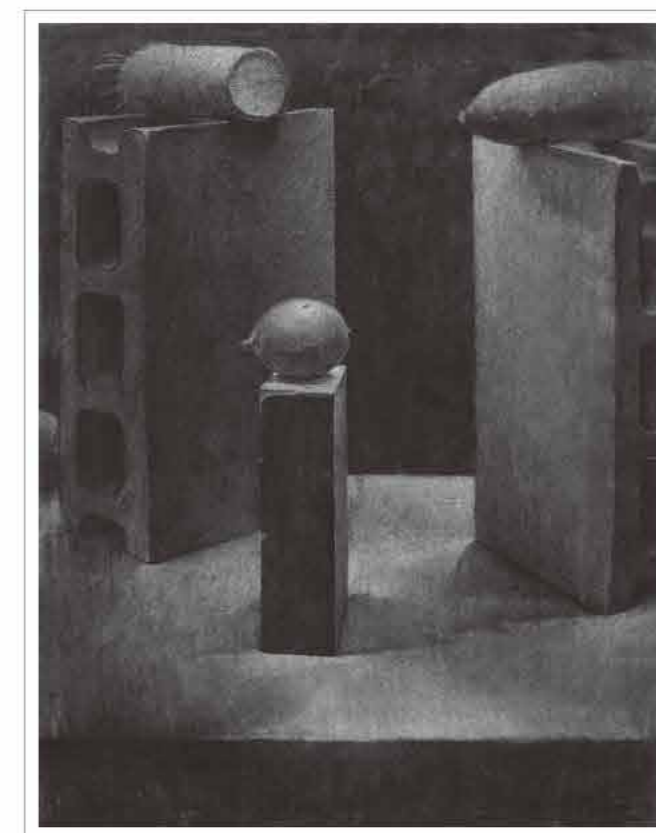
多摩美術大学 合格 現役



武蔵野美術大学 多摩美術大学 合格 現役



多摩美術大学 合格 現役



武蔵野美術大学 合格 現役



デザインに進むという事は 最先端の表現力を手にするという事。

デザイン科について

デザイン科は東京芸術大学と武蔵野美術大学と多摩美術大学で志望者が分かれます。他科ではほとんどの受験生が東京芸術大学を第一志望にし、東京芸術大学がダメだった場合のために武蔵野美術大学、多摩美術大学を受験します。

それに対し、デザイン科は主に東京芸術大学を第一志望にする人。多摩美術大学グラフィックデザイン学科を第一志望にする人。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科を第一志望にする人に分かれます。第一志望が3つに分かれるのは実技試験の課題が全く違うからです。

東京芸術大学の実技試験は私大にはない立体構成が課されます。デッサンと平面構成も特殊です。

多摩美術大学グラフィックデザイン学科の実技試験は主に手のデッサンと色彩構成が課されます。

武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科の実技試験は主に静物デッサンと色彩構成が課されます。

東京芸術大学はデッサンと平面構成と立体構成をすべて極めなければなりません。

それに対して私大は立体構成が課されない分受験生に対するハードルは低く、デッサンと色彩（平面）構成も合格レベルに達するまでに東京芸術大学ほどの時間はかかりません。

そのためデザイン科では多浪覚悟で東京芸術大学を目指す人と現役1浪で多摩美・武蔵美を目指す人に分かれます。

クマビのデザイン科

クマビのデザイン科は科を設立した2015年の多摩美術大学グラフィックデザイン学科合格率100%全国1位の成績を皮切りに、2017年の入試では多摩美術大学と武蔵野美術大学を受験した全員が両大学に合格し、2018年以降に続きます。デザイン科の高合格率の背景には2016年度から本格始動したクマビの芸大美大入試の授業があります。

学科が足を引っ張るケースが目立つ芸大美大入試ですが、クマビの学科を受講している生徒は全員英語の点数を7割程度とっています。



デザインとは

デザインとは広い意味では、「設計」を意味します。

デザイナーの手によって設計されるものは、印刷物やタイポグラフィ、サイン・シンボルマークをはじめ映像や音などを駆使して視認性を高め、情報をすばやく正確に伝達するグラフィック。人に優しく使いやすさ、快適性を追求した車や家電などの工業製品や住空間・都市計画・空間設計などのプロダクト。生活の価値や水準を高め華やかにするファッションや工芸・アート作品に至るまで人間生活の中で多くのデザイナーが深く関わっています。

その中でデザインの垣根を越えた、さらに世の中に役立つデザインを生み出せる指導的なデザイナー・ディレクターになるために、芸大美大に入る前の段階こそ、よりしっかりと基礎力の養成を求められます。



受講時間帯

昼間部 高卒生対象

	月	火	水	木	金	土	日
14	●	●	●	●	●	●	●
15	●	●	●	●	●	●	●
16	●	●	●	●	●	●	●
17	●	●	●	●	●	●	●
18	●	●	●	●	●	●	●
19	●	●	●	●	●	●	●
20	●	●	●	●	●	●	●

夜間部 高3生対象

	月	火	水	木	金	土	日
14	-	-	-	-	-	-	-
15	-	-	-	-	-	-	-
16	-	-	-	-	-	-	-
17	●	●	●	●	●	●	●
18	●	●	●	●	●	●	●
19	●	●	●	●	●	●	●
20	●	●	●	●	●	●	●

先輩からのアドバイス



多摩美術大学
グラフィックデザイン科卒業

中村 怜

多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒の中村怜です。主な研究課題はイラストレーションです。

高校3年からクマビに通って美大対策をしていました。高校の帰りに通うことができたほか、少人数での指導だったため、とても密度の濃い指導を受けることができました。初めての色彩構成も丁寧な説明で、要領よく学ぶことができました。デッサンの作品は就活の際にもアピールポイントとして役に立ったので、入学前に力を入れてデッサンの修練に取り組めたのは良かったです。

(美大・タマグラの利点)

大学ではイラストレーションだけでなく、タイポグラフィやエディトリアルデザインなど、幅広いデザインについて学びました。もともと興味の薄かった分野でも、いざ学び始めるとその奥深さに感心しました。自分のできる表現の幅を広げるといふ意味でも、様々な分野について深く学べるのは大学の利点だと思います。



タマグラではPCルームが自由に使える、大判サイズでの印刷も可能です。トライアンドエラーで制作を行えたため、納得のいくまで作品制作に専念できました。

また、同期生の数も多いため、パッケージデザインを学ぶ人やアートディレクターを目指す人、フォトグラフに詳しい人など様々な学生がいます。自分とは異なる視点に触れることでとても刺激を受けました。自分自身がどんなデザイナーになりたいのか、社会へどのように貢献できるのかということを見つめ直すことができたのも、そういった環境があつてのことだと思います。

(就活について)

4月からは京都のゲーム開発会社にグラフィックデザイナーとして就職することになりました。もともと興味のある業界だったので、2年の頃から学内の企業説明会には積極的に参加し、どんなスキルが必要なのか、それに合わせてどのように自分をアピールすれば良いのか研究を重ねていました。本格的にポートフォリオの制作に取り掛かったのは3年の冬ごろです。5~6月にかけて教育実習もあつたため就活を一時中断、7月に第一志望の企業の説明会に参加し、8月の面接を経て内定を頂きました。大学の就職課では企業のパンフレットやポートフォリオのサンプルなども充実してとても参考になりました。



私は受験勉強で大切なのは、わからないところや苦手を放置せず、理解して次へ進むことであると考えています。その点、クマビは生徒一人ひとりの現状をきちんと把握してくれていたため、とても質問や相談がしやすかったです。プレッシャーが少なく自分のペースで学ぶことができる環境でした。

多摩グラは良くも悪くも放任主義で、やりたいことが見つからない学生にはそれができる設備はあるし、やりたいことが見つからない学生でも、色々なものを見て考える環境はあります。また、レベルが高い人たちの中で多くの事が学べる反面、課題量が多く、バイトやサークル・部活との両立がとても難しいです。スケジュールが管理できなかったり要領が悪い人にはきついため、多摩グラを目指すなら、受験期から自分で考えて効率よくこなすことを覚えた方がいいと思います。

合格者の声

クマビは一人一人の現状を把握して対応してくれる。



多摩美術大学
グラフィック
デザイン科在学

田中 千智

先輩からのアドバイス



武蔵野美術大学
視覚伝達デザイン学科在学

小池 さおり

美大受験に関しては、大学に入ってからようやくわかったことが多くあります。ここではそれを少しでも伝えられたらと思います。

●クマビのよさ

クマビの教え方のよいところは、「考え方」をわからせてくれるところ。最初のうちは技術向上の方にばかり気持ちが走りがちですが、やはり何よりも先に土台を固めなければなりません。だから先生方がしてくれる「デッサンとは」「デザインとは」みたいなお話はよくよく聞いておいた方がいいです。その場ではピンとこなくても、ここで固めた地盤が後に必ず効力を発揮してくれます。これは受験に限った話ではなく、大学に入りデッサンや平面構成をしなくなった今でも大事にすべき考え方だったりします。

●オススメすること

合格した今だから思いついた、受験生におすすめしたいことが2つあります。

(1) 入試問題集を読む 実技試験の参考作品がたくさん載っているあの本、一回熟読すると良いなと個人的には思っています。受験が近い学生は特にです。注目してほしいのは「出題意図と評価ポイント」の部分です。受験においては、「この課題を出すことでこの学科は学生に何を求めているんだろう？」というのを把握するのがとても重要です。当た

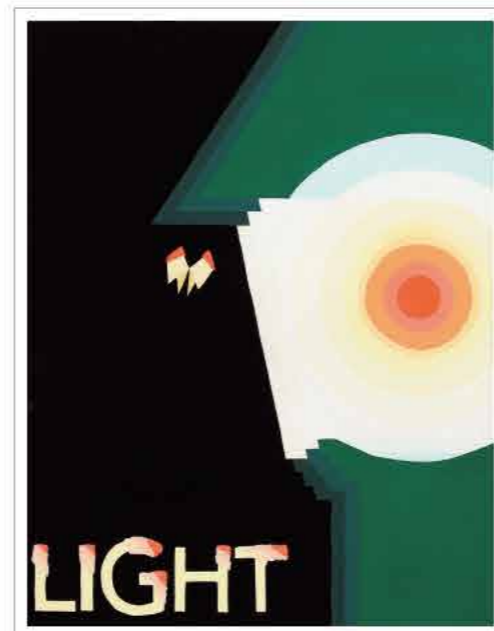
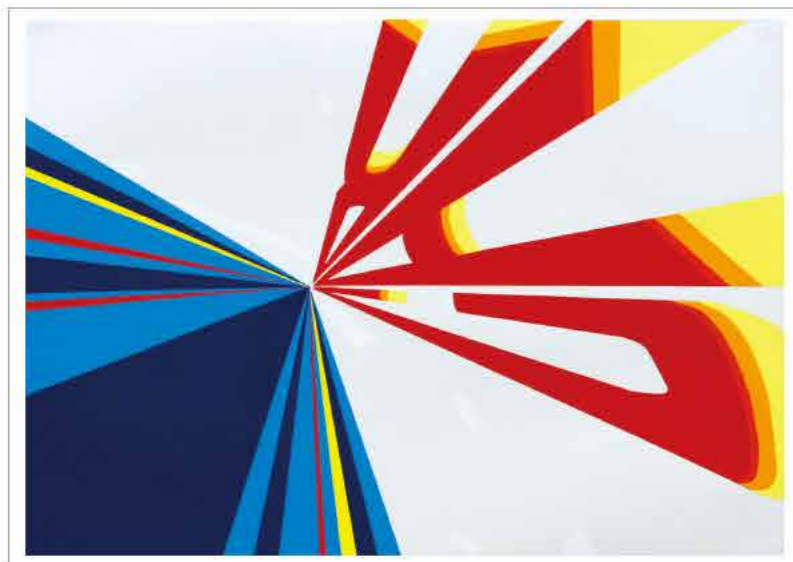
り前だと思える人もいるかもしれませんが、受験は緊張で頭が固くなったり、出題傾向が今年から変わった、なんてこともありえる予測しきれない場所です。そこで今までの努力を台無しにしないためにも、普段から課題の意味を考え、「解答」として適切な作品を作るよう徹底するのが着実な方法だと思います。

(2) オーキャンに行く

オープンキャンパスは受験生のための行事ですから、一度は時間をかけてじっくり見尽くしてほしいです。例えば武蔵美では、合格作品を生で見られる上に、その場で合格者が自分の作品や対策について解説するブースがあつたり、教授同士のトークショーがあつたりします。上述した入試問題集には載らない、さらに深いものがオーキャンにはあります。その場でしか知ることのできない情報、味わうことのできない空気を是非体感してほしいです。

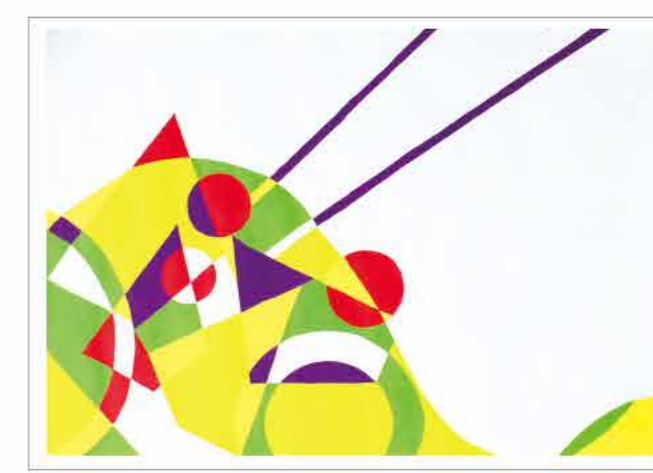
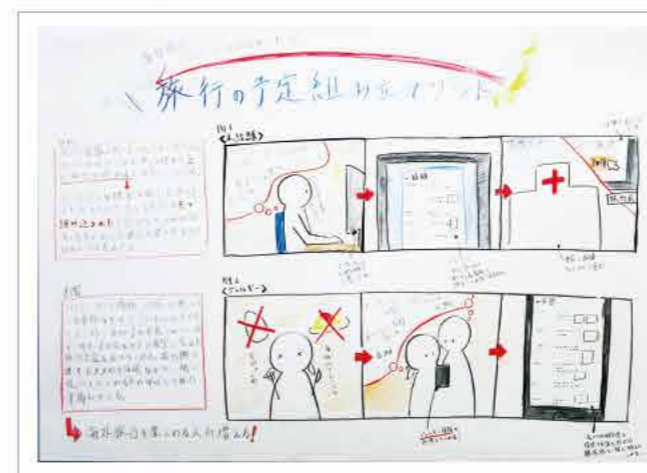
美大は毎日が刺激の連続で本当に楽しい場所です。一番ものごとを吸収できる若い時期に美大で学べるのは物凄く貴重なことだと、通いながら感じます。ぜひ合格目指して突き進んでください！





日本大学芸術学部 デザイン科 プレゼン

東京造形大学 デザイン科 色彩構成



工芸科



日本におけるデザインの原点、東京芸大工芸科

新設工芸科について

工芸科とは素材を選び、直接手で触れて物を作り出すことを学ぶ科になります。

大学の講座を素材として大きく分けると金属、陶磁、硝子、漆、木工、染織の6講座が中心になってきます。

大学による特色はありますが基本には日本古来の伝統技法と素材について学び、そこから独創性のある創造に発展できる人材を育成することが軸にあると思います。

また、工芸と言うと生活に一番身近にある美、実用品と思われませんが現在ではそれだけではなく伝統技法を生かしながら実用性にとらわれない創作にも力を入れています。

発想から完成までの工程を一人でおこなうので最後まで自分の表現をしたいと思う人にお勧めできる科と言うことになります。

工芸科卒業後は作家の他にも教育の現場や物作りのプロセスを生かせる企業に就職したり自分のブランドを立ち上げるなどいろいろな分野で活躍しています。

2020年、東京オリンピックを前に日本の文化の一つとして世界中から注目されており今後も世界に広げることのできる分野になるでしょう。

クマビの工芸科

工芸科受験には鉛筆デッサンと色彩構成、東京芸術大学受験ではその2つに加えて立体構成が必要となります。

デッサンは静物デッサンと石膏デッサンが主な課題になります。特に工芸科で多くの課題になる静物デッサンでは空間や立体感の他にいろいろなモチーフの素材の違いも表現しなければなりません。また、工業製品の構造や植物の成り立ちを理解して描くことも重要になってきます。他にも構図や鉛筆の使い方などいろいろな方向から学んでいきます。

色彩構成はモチーフとイメージの課題になります。モチーフでは素材の特性を見る観察力を養い、イメージでは課題に対

する理解力を養います。また、色の組み合わせによる効果や対比なども学んでいきます。

立体構成は色彩と同じようにモチーフとイメージの課題になります。モチーフでは模刻を中心にして素材の特性を生かせる構成、イメージでは課題を理解しながら自分の発想を美しい形に出来るように学んでいきます。

クマビの最大の特徴は少人数にあります。

少人数であることから他科との距離が近いので油画、日本画、デザイン、工芸の講師が一人一人の制作を観ており、多方面からの視点で問題点を見つけることができます。そこから一人一人に合わせた細やかな指導や問題点対策の課題を作ることもできるのです。

受講時間帯

昼間部 高卒生対象

	月	火	水	木	金	土	日
14	●	●	●	●	●	●	●
15	●	●	●	●	●	●	●
16	●	●	●	●	●	●	●
17	●	●	●	●	●	●	●
18	●	●	●	●	●	●	●
19	●	●	●	●	●	●	●
20	●	●	●	●	●	●	●

夜間部 高3生対象

	月	火	水	木	金	土	日
17	●	●	●	●	●	●	●
18	●	●	●	●	●	●	●
19	●	●	●	●	●	●	●
20	●	●	●	●	●	●	●

芸大美大学科



芸大・美大の難関校は学科が重要

藝大・美大を目指す生徒さんの中には、勉強があまり好きではない方も多いかと思いますが、「自分は実技を頑張りたいから、学科はちょっと…」クマビの美大学科対策は、特にそういった方々のために開講されています。

現在、大学入試は変化の時を迎えつつあります。藝大受験に必要なセンター試験の廃止にともない、変革しつつある試験制度に対応出来る、柔軟な思考力を持った講師が必要とされています。

その一方、武蔵野美術大学や多摩美術大学をはじめとする私立美大は、独自の出題形式を保っています。これに対応するには、長きにわたって試験問題を解き続け、出題傾向を良くおさえることが重要です。

クマビの学科対策の講師は東京大学出身で、様々な科目に精通しているだけでなく、これまで長い間藝大・美大の学科試験対策を行ってきた実績があります。

また、過去に本講座を受講したOB・OGが、自分の体験について気軽に語れるアット・ホームな雰囲気もあります。

幅広い教養と豊富な経験を備えた講師、そして親身なアドバイスをしてくれる先輩たち。

多角的な対策が求められる藝大・美大受験にあって、クマビの布陣は万全です。

皆さんも、クマビで学科高得点を目指しましょう。そしてここを巣立って行く際、少しでも勉強が好きになってくれたら幸いです。

芸大美大学科

年間授業回数 28回(講習会別)

※実技の受講とは別に学科の料金が掛かります。

実力テスト

クマビ生全員で高校1年生以上を対象に英語と国語の実力を定期的に確認します。実力テストの内容はクマビの学科講師が入試の傾向を分析して作成しています。

・実施回数年間3~5回程度

勉強会

芸大美大学科だけでは学科の勉強が足りない人、自宅で学科の勉強をするのが難しい人を対象に古文漢文/英語の授業を行います。

講習会期間の芸大美大学科

夏期と冬期講習会期間に行う短期集中方の学科の講座です。※年間の芸大美大学科とは別途料金が必要です。

ムサビ / 多摩美 / 造形の入学試験の国語と英語の自己採点武蔵野美術大学 / 多摩美術大学 / 東京造形大学の学科の試験が終わったらクマビの学科講師が速やかに解答を作成します。クマビの受験生は学科の試験でどの程度の点がとれたか? 試験後すぐに知ることができます。

受講時間帯

芸大美大学科

	日
13	●
14	●
15	●



日本の自然や伝統に根ざした美しさを 真摯な目で描写する

日本画科について

単純に日本画と聞いて何を思い浮かべるでしょうか？浮世絵？墨絵？それとも屏風絵？実は、これら全てが日本画と言えます。

日本人が描く日本の絵。これが日本画ですとしか言えません。というのも明治期に洋画の成り立ちに伴い、それに対して名付けられたのが日本画という名称です。

ですから、それまで日本の中で培われてきた絵画すべてが日本画といえるのです。

もちろん岩絵具と膠（にかわ）を使って和紙に描くいわゆる古来の素材としての日本画の一面もあるでしょう。

しかし、重要なのは日本の風土に根ざし、自然の美や力を真摯な目で描写する。それが日本画と言えます。



クマビの日本画科

日本画科のある予備校は都内の中堅クラス以上。神奈川では一極集中しており、埼玉県内ではわずかで、北部ではクマビが唯一の予備校です。

クマビはまだ少数なので油画科、デザイン科と合同で描く機会を多く設けています。そのため他の予備校にはない多角的な見方、進め方描き方を伸ばせます。

指導では基礎中の基礎をひとつひとつ掘り下げ、マンツーマンにより、個々の欠点を克服し受験指導の経験豊富なベテラン講師がフォローしていきます。

鉛筆デッサンでは、道具の使い方からはじまり、明暗、質感、空間などを学び、細密デッサンを通して観察眼を身につけます。モチーフも石膏、静物、植物、人物等さまざまなものを描き、基礎力を養います。

着彩は、道具や絵の具の使い方、色の仕組みをていねいに学び、制作過程を確認しながら進め「美しく心地よい空間」を意識し描写力、構成力を追求、豊富な表現力を育成します。

以上の「モチーフを観察してていねいに描写する課題」とは別に「個性豊かな表現をする課題」として人物画や想定問題、構成着彩などを行い、他の予備校にはない強みをより強化するために私大対策では油画科、デザイン科の課題も行います。

「考える力が大事」

日本画科受験で大切な事は、「観察する」事と「考える」事です。よく観察し、自分が感じたもの見つけたものを、どうすれば表現出来るかを考える事が描写に繋がります。

考えて表現する際の思考プロセスは人それぞれです。熊谷美術研究所では、生徒一人ひとりの性格に合った教え方で「考える力」個性を伸ばしていきます。



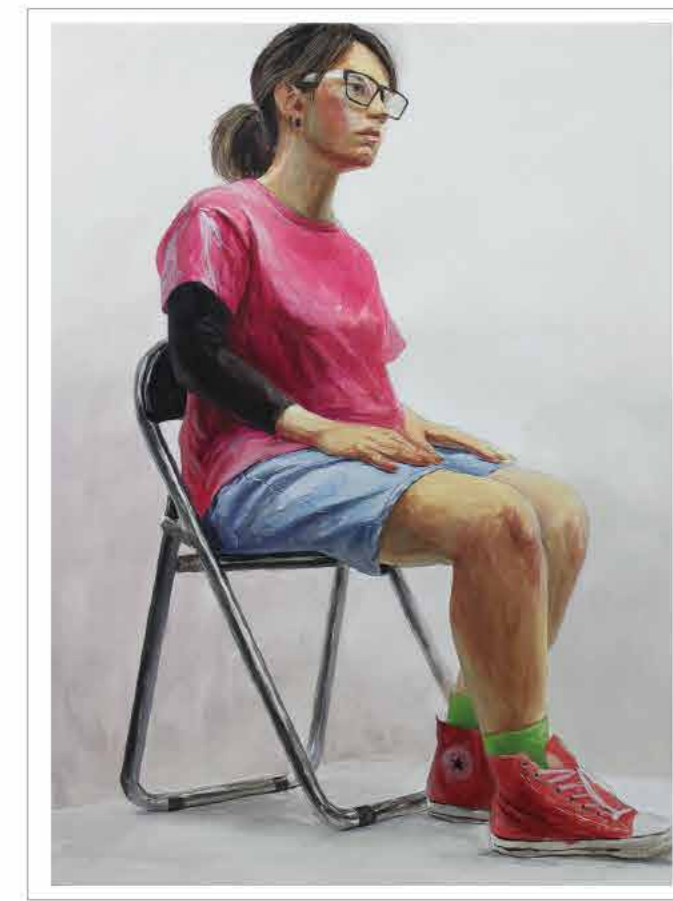
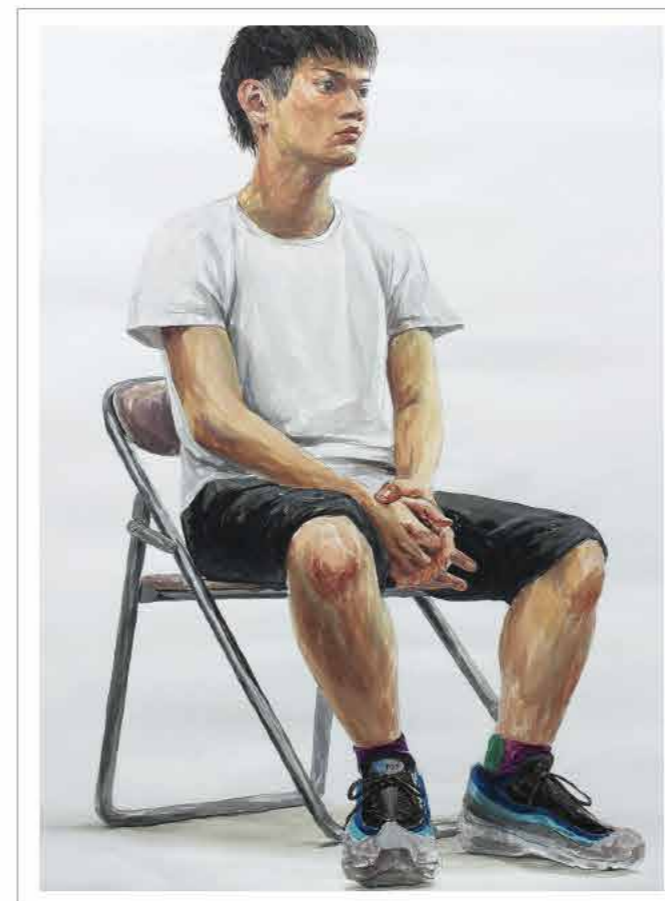
受講時間帯

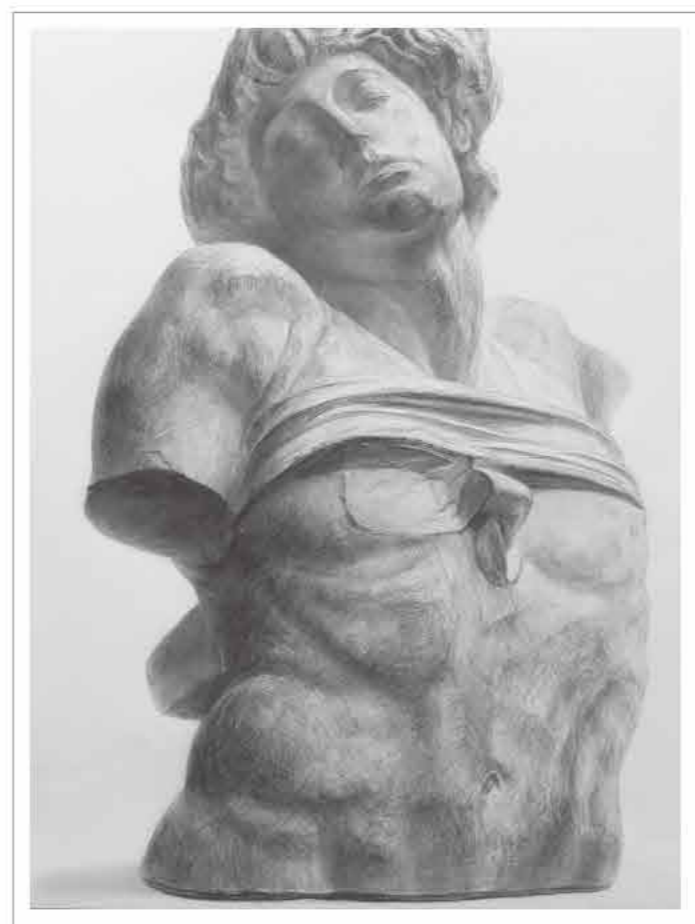
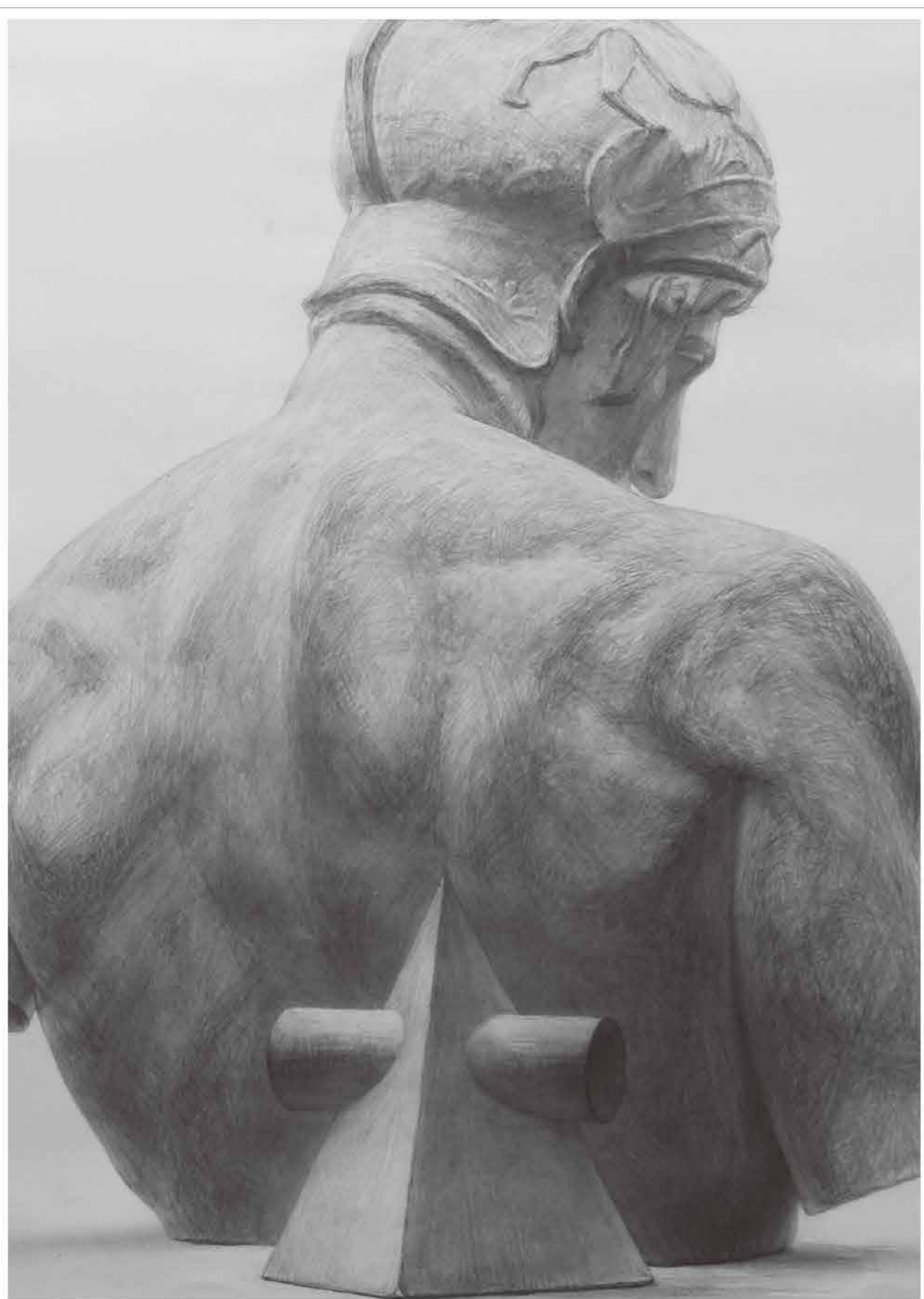
昼間部 高卒生対象

	月	火	水	木	金	土	日
14	●	●	●	●	●	●	●
15	●	●	●	●	●	●	●
16	●	●	●	●	●	●	●
17	●	●	●	●	●	●	●
18	●	●	●	●	●	●	●
19	●	●	●	●	●	●	●
20	●	●	●	●	●	●	●

夜間部 高3生対象

	月	火	水	木	金	土	日
14	●	●	●	●	●	●	●
15	●	●	●	●	●	●	●
16	●	●	●	●	●	●	●
17	●	●	●	●	●	●	●
18	●	●	●	●	●	●	●
19	●	●	●	●	●	●	●
20	●	●	●	●	●	●	●







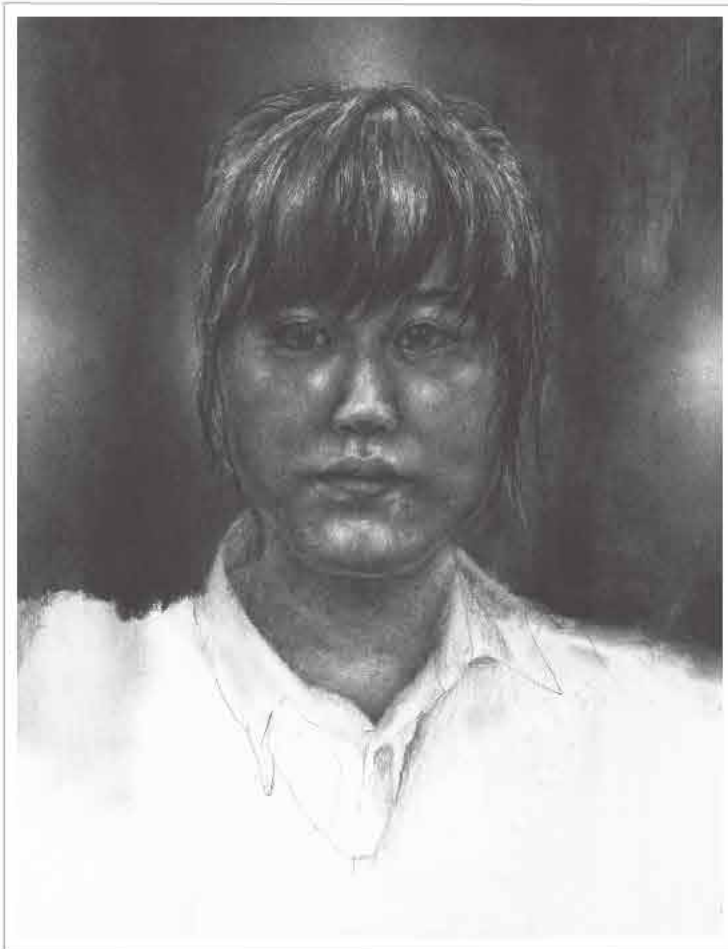
早い時期から基礎力を培い 適正な進路を導きだす

基礎科について

基礎科は、中学生から高校2年生を対象にデッサンと色彩構成、油絵(希望者)塑像の基本を学ぶ科です。

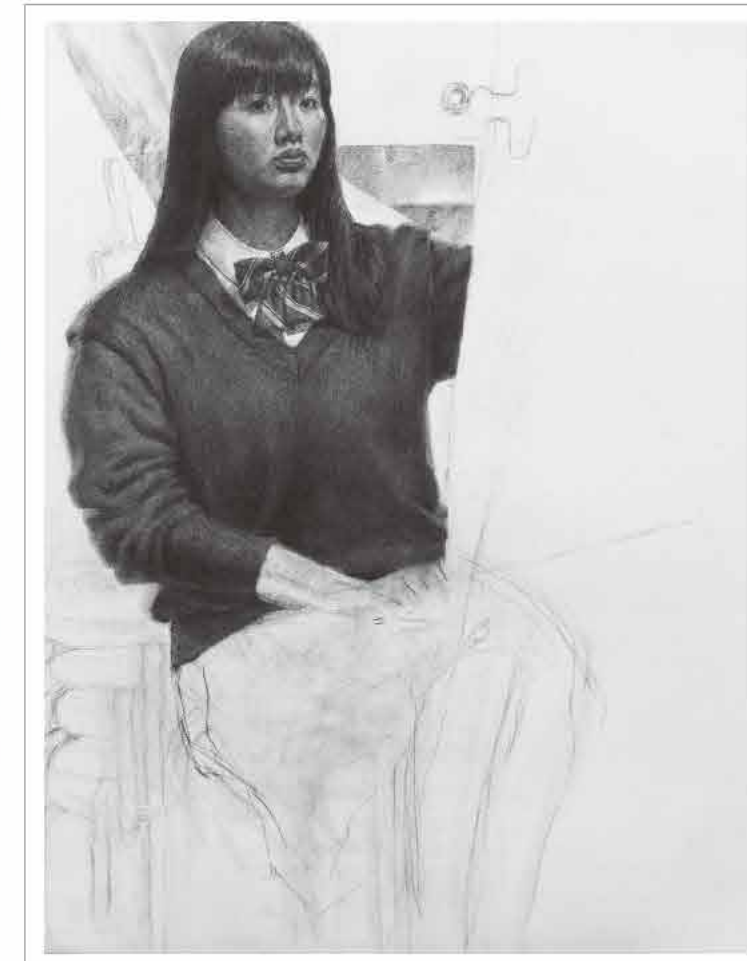
しっかりとデッサン力を養いながら、専攻を考えて専攻が決まった人は専攻ごとの課題に取り組みます。クマビの基礎科の特徴としては専攻が決まった人は日程などの条件が合えば受験科と一緒に課題に取り組めることです。また、受験科の先輩たちが年間を通じてどのように成長し合格していくかを見ることができます。受験科の人は殆どの人が4月当初は英語国語3~4割、実技は上手い人は上手い、全然の人は全然だったのが、入試本番では英語国語7割程度、実技も飛躍して、頑張った人は難関校にほぼ全員合格していきます。そのような受験科の先輩の様子を基礎科の時にしておくくと高校3年生になってから余計な不安に惑わされることもないでしょう。

クマビでは受験科の人の殆どが難関校に合格しています。中には半年程度しか通っていない人もいます。でも、芸大美大に入ってから授業についていくためだったり、確実に合格していくためには美術系に進学を決めた時点からクマビの基礎科に通うべきです。中学生や高校1年生から通っている人はやはり上手いし受験に強いです。皆さんも美術系に進学することを決めたら出来るだけ早くクマビに来てください。



美術高校受験対策

埼玉県美術高校の実技試験はそれほど難しい出題でもなく、難しいレベルでもなく美術に興味をもつ中学生の皆さんが受けやすいようになっています。但し、しっかりと実技の基礎を身につけるためにはある程度実技の制作時間も大切です。ただ、合否はほぼ学科の点数できまります。なのであくまで学科が重視です。



受講時間帯

夜間部
高1・2生対象
5日コースA

	月	水	木	金	土
17	●	●	●	●	●
18	●	●	●	●	●
19	●	●	●	●	●
20	●	●	●	●	●

高1・2生対象
5日コースB

	月	水	木	金	土
14					●
15					●
16					●
17	●	●	●	●	●
18	●	●	●	●	●
19	●	●	●	●	●
20	●	●	●	●	●

夜間部
高1・2生対象
3日コースC

	月	木	土
17	●	●	●
18	●	●	●
19	●	●	●
20	●	●	●

高1・2生対象
3日コースD

	月	木	土
14			●
15			●
16			●
17	●	●	●
18	●	●	●
19	●	●	●
20	●	●	●

高1・2生対象
土日曜コース

	土	日	土	日	日
9		●			●
10		●			●
11		●			●
12		●			●
13		●			●
14		●	●	●	●
15		●	●	●	●
16		●	●	●	●
17	●				
18	●				
19	●				
20	●				

基礎科

受験にはメンタルが重要
友達と話をしたり、先生に相談して気分転換

合格者の声

武蔵野美術大学 油絵科 現役合格

齊田 有花

私はクマビに高校一年生の時から通ってました。一年の時から通うことで焦ることなくしっかりと基礎を学ぶことができました。美術は才能がないとできないと思っている方も多いと思いますが、特訓を続けていくことで確実に力が着いてきます。確実に美大に合格したいのであれば、週一でもいいので一年生から通うことを私はオススメします。「描くこと」に慣れることが美大への近道です。三年生、受験生になると実技対策で忙しくなるので、学科は一、二年生のうちにしっかりやっておくべきです。私大は普段の授業や、過去問だけでも十分点が取れますが、センターはちゃんと勉強しないと点が取れません。藝大や私大のセンター利用を考える人は対策が必要です。私はもっと英語をしっかり勉強すれば良かったと後悔しています。美大受験において、一番重要なのはメンタルだと思います。描いていても全くうまく行かない、スランプになる時は必ずあると思います。気分転換ができるようにしておいたり、先生に相談したり、なんでも話せる人がいると乗り切れます。私がそういう状態になった時は、友人と話したり、無理に絵を描かずに休んだり、好きな画家の作品を見たりしていました。また、本番の試験は特に緊張します。私はムサビの素描でものすごく緊張して手と足がずっと震えていました。緊張に勝てるメンタルを育て、本番をベストの状態で挑めるようにできるといいと思います。



高校一年時の作品

土日科



難関校を目指す実力者とともに技術を磨く

土日科について

土日科は、平日に中学/高校/部活/送迎の都合/仕事があるなどの理由で通うことができない人を対象に受験対策を行う学科です。又、土曜日には平日に週6日で夜間部と昼間部に通う東京芸術大学/多摩美術大学/武蔵野美術大学といった難関校を目指すクマビ生も来て制作しています。週に6日で制作している実力者と肩を並べて切磋琢磨できるのはクマビの土日科の特色です。



受講時間帯

土日コース 1

	土	日
9		●
10		●
11		●
12		
13		●
14		●
15		●
16		●
17	●	
18	●	
19	●	
20	●	

土日コース 2

	土	日
9		●
10		●
11		●
12		
13		●
14	●	●
15	●	●
16	●	
17		
18	●	
19	●	
20	●	

クマビ コラム

読めば芸大・美大受験の事が分かる。
進路についての疑問や不安が解消。
クマビのコラム(HP)を是非お読み下さい。

芸大美大ランキング



芸大美大入試
情報収集



美術に進むかどうか
悩んでいる



合格するために
読むページ

